

創世記12章1-3節 「祝福になるアブラハム」

1A バビロンとの決別 1

1B 父の故郷からの離別

2B 主の命じられたことに生きる道

2A 新たな祝福 2-3

1B アブラハムへの祝福 2

1C 大いなる国民

2C 大いなる名

3C 祝福の仲介者

2B アブラハムによる祝福 3

1C したことに対する報い

2C すべての部族への祝福

3A アブラハムの子孫

1B ダビデの世継ぎの子

2B キリストにある霊的祝福

本文

創世記 12 章を開いてください。私たちの聖書通読の学びは、前回 11 章まで来ました。今日、午後礼拝で 12-13 章を一節ずつ読んでいきます。今朝は、1-3 節に注目します。「¹主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。² そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。³ わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

神のご計画全体の中で、主がアブラハムに語られたこの言葉が、人の歴史のすべてを変えたといつて過言ではありません。ここで主が語られた言葉は、これまで私たちが、天地創造の時から見てきた、神の思いのすべてが詰め込まれている内容であり、また、これからの主の思いがすべて詰め込まれている内容です。神のご計画をどのように実行するのか、中核になっている約束です。

今朝は、韓国からの若いみなさんがいらしていますが、もし、ここのアブラハムへの約束がなければ、来ることもなかったでしょう。「地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」と主は言われていますね、すべての部族、あるいは民族が、アブラハムの子孫キリストによって救われるために、ここ日本に来ています。この話、世界宣教については最後にお話したいと思います。

1A バビロンとの決別 1

1B 父の故郷からの離別

1 節に、「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい」とあります。

私たちは前回、ノアの家族から、もろもろの国民が分かれ出たということを見ました。家族ですから、一つの言語のはずです。けれども、人々が一つのところに集まり、町を建て、そして自分たちの名をあげ、天に届く塔を建てようとした。そこで主は、ご自身に反抗して、自分たちの名をあげ、また天に届く、つまり神に自分が到達しようとする愚かな試みを彼らがしているのを、見ました。それで主は、言葉をばらばらにされたのです。そして、それぞれが散っていき、国民に分かれ出たのです。そこがバベルと呼びます。バビロンのことです。

そして、アブラムは、そのバベルの町があったシニアルの地にいました。ウルという町です。そこで、主が、「あなたは、あなたの土地」を離れなさいと命じられました。つまり、バビロンから出ていきなさい、ということです。さらに、「あなたの親族、あなたの父の家を離れて」と言われます。彼の父テラは偶像礼拝者でした。そこから離れなさいと命じられました。

つまり、主は、バベルの塔によって、人々がご自身ではない他の神々を拝んでいるところから離れなさい、また他の神々を拝んでいる家から離れなさいと命じておられます。主が、アブラハムから、ご自身を神とする新たな国民を造ることを決められたのです。主は、ノアの際は、大洪水によって人々を消し去って、ノアに、新しく、生めよ、増えよ、地に満ちよと言われました。アダムに対して命じられた祝福を、ノアに注ごうとしておられたのです。けれども、それもまた言葉がばらばらにされ、国民に分かれ出た中で、台無しになりました。おまけに、人々はご自身ではない、他の神々を拝むようになっていきます。

2B 主の命じられたことに生きる道

それで主は、新しい国民を造ろうとされているのです。「わたしが示す地へ行きなさい」と言われます。今いる、シニアルの地から出て、わたしの示す地に行きなさいと言われます。後に、カナンの地が約束の地であると示されますが、そこを彼の所有とし、そしてそこが後に、ダビデによって神の都と定められ、そこでイスラエルという、神の国民を創り出されるのです。

パウロは、これをロマ 11 章において、野生のオリーブの木と、栽培種のオリーブの木に例えました。野生が、異邦人たちです。そのまま、国民として、異なる神々を拝んできている人々です。けれども、栽培種は、アブラハムを主が召し出し、それからイサク、ヤコブへと約束が受け継がれ、そこからイスラエルの国民が始まったということです。

このようにして、主は、元々の血縁関係を捨てることではないですが、自分が誰であるかの置きどころを、アイデンティティー(正体性)を、肉のつながりではなく、主の命じられることばによってなのだということを明らかにしています。主が語られ、それで天と地が造られ、また人が造られたように、私たちはみな、神のことばによって生きていきます。そこにある仲間が、新たな家族であり、新たな国民なのです。イエスは、マリアや兄弟たちがやってきた時に、みことばを聞いている人々についてこう言われましたね。「マルコ 3:34-35 ご覧なさい。わたしの母、わたしの兄弟です。だれでも神のみこころを行う人、その人がわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

同じようにして、みなさんは、世の者として生きるのではなく、世から出ていくという決断をしたでしょうか？バビロンについて、御使いは「黙示 18:4 わたしの民は、この女の罪に関わらないように、その災害に巻き込まれないように、彼女のところから出て行きなさい。」そして、私たちも、世のものではなく、主のものとなされました。

2A 新たな祝福 2-3

1B アブラハムへの祝福 2

そうしたら、主は大いなる祝福の約束をされます。2節と3節は、まさに、アブラハムを祝福し、またアブラハムこそが祝福になり、すべての部族が彼にあって祝福されるという、すごい約束です。アダムに対しての約束、ノアに対しての約束を、今、主は、アブラハムという一人に対して、彼を召して、選び出し、それで世界を祝福するというご計画なのです。「イザ 51:2 あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを産んだサラのことを考えてみよ。わたしが彼一人を呼び出し、彼を祝福し、彼を増やしたのだ。」

私たち主、神は、ご自身が直接、すべての人に祝福を分け与えられるのではありません。主は、不思議にも、人を選ばれて、その人を通してご自分の祝福を流そうとされます。主は、ひとりの人、アダムによって世界を祝福しようとしていました。同じようにノアによって、祝福しようとしていました。その後も、主は人を選ばれ、呼ばれ、そしてすべての人を祝福されます。そして、父なる神に愛され、選ばれた方がキリストです。この方が主に任命され、全世界の救い主となりました。

そして、主は私たちをも選ばれました。「I コリ 1:21 神の知恵により、この世は自分の知恵によって神を知ることがありませんでした。それゆえ神は、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救うことにされたのです。」そして、主は、「マタ 11:25 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。」このようにして、宣教のことばが愚かであっても、それを使って、ご自身の知恵を知らせることに決められました。そして、幼子のような者たちに、それを示されたのです。

1C 大いなる国民

初めに、アブラハムは、「**あなたを大いなる国民と**」すると約束されます。主に反抗して、分かれていった国民の中で、主による大いなる国民としてくださいます。後にモーセが、イスラエルがどの国々の上に、上げられると預言しました。「申命 26:18-19 今日、【主】は、あなたに約束したとおり、あなたが主のすべての命令を守り主の宝の民となること、19 あなたを、主が造られたすべての国々の上に高く上げて栄誉と名声と栄えとし、約束のとおり、あなたが、あなたの神、【主】の聖なる民となることを誓約されたのである。」

2C 大いなる名

そして、「**あなたの名を大いなるものとする**」と約束されます。主が、ご自分の造られたものに名をつけられましたね。それを、アブラハムに行われます。アブラハムの名を大いなるものとすることによって、神ご自身があがめられるようにするためです。アブラハムが神のしもべであり、彼が神の御名を呼び求めるようになるので、彼の名が大いなるものとなるということは、神ご自身の御名が大いなるものとなるということです。

バベルの塔では、彼らは自分たちの名をあげようとしていましたね。それで、彼らは引き落とされました。アブラハムはその反対です。カナンに着いたら、「12:8 **彼は、そこに主のための祭壇を築き、主の御名を呼び求めた。**」とあります。人々はバベルのように、自分たちの王国を造ろうとしますが、神の民によっては、神の王国が広がるのです。

3C 祝福の仲介者

そして、「**あなたは祝福となりなさい**」と命じられます。彼が祝福されるだけでなく、彼自身が祝福となります。つまり、彼が神の祝福の仲介となるのです。彼に、神が共におられます。また、神は彼と一つになってくださっています。

キリスト者に対して、主がそのようにしていただきましたね。サウロ、後のパウロは、キリストの弟子たちを迫害していましたが、彼の前にイエスが現れて、「なぜ、わたしを迫害するのか？」と問われました。彼らを迫害することは、主ご自身を迫害することに等しかったのです。それは、主が、教会と一つになってくださっているからです。

2B アブラハムによる祝福 3

1C したことに対する報い

そこで、主は、アブラハムによる祝福で世界を祝福しようとしていますから、アブラハムに敵対する者たちには、その祝福は流れないこととなります。それで、主はこう言われます。「**わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。**」

アブラハム、そして彼から出る大いなる国民は、神の祝福の管です。ですから、イスラエルを祝福すれば、自分が祝福されます。また。呪えば、そのまま呪われます。言い方を変えたら、自分が裁くその量りで、自分自身が裁かれるということです。イスラエル自体が良い悪いではないのです。ただ、主がイスラエルと共にいるということで、イスラエルを呪えば呪われるし、祝福すれば祝福されるのです。神が恵みによって、選ばれているからです。イスラエルが、ある意味で鏡となっています。イスラエルに対して、ああだこうだと言っている時に、実は自分自身が、神によって、自分の心が探られているのです。

主に愛され、恵みによって選ばれた者について、起こることです。誰かが、キリスト者に対して、何か悪いことをしていくとします。その人は、神に対して自分自身がどうなのか？が試されてきます。本人と、キリスト者の関係ではなく、本人とキリストの関係になってくるのです。パウロが、弟子たちを迫害していたら、イエスご自身を迫害していたようにです。

2C すべての部族への祝福

ですから、主が祝福されているのですから、その祝福を妨げるようなことは避けるべきです。アブラハムにあっては、すべての人が祝福されます。「地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」そうなのです、主は、アブラハムによって、ご自分の救いのご計画を立てられたのです。ノアによって諸民族、諸国民に分かれ出てしまいましたが、しかし、新しい、神を恐れ敬う国民によって、そして、そこから出てくるキリストによって、すべての部族が祝福されるようにされました。

3A アブラハムの子孫

1B ダビデの世継ぎの子

アダムの犯した罪によって、罪が世界に入ってしまったのです。ですから、ノアの家族から人々が増えましたが、その彼らが再び、バベルの塔という反抗をしたのです。しかし主は、その根っこにある罪を取り除くべく、御子を遣わされました。その御子が、アブラハムの子孫である、ダビデに約束されたのです。「イザ 9:6-7 ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。7 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。今よりとこしえまで。万軍の【主】の熱心がこれを成し遂げる。」

それで、マタイ 1 章 1 節が、「アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図」となっています。アブラハムを祝福とされた神は、初めに女の子孫によって、蛇の子孫のかしらを打ち砕くようにされましたが、アブラハムの子孫にその約束をくださいました。そしてアブラハムの末裔にダビデがいて、ダビデの子が、神の国の世継ぎの子、キリストにされたのです。

2B キリストにある霊的祝福

それで、このキリストにあって、私たちは、アブラハムの霊的な子孫であり、信仰によってアブラハムを父とみなすことができます。キリストにあって、霊的な祝福のすべてを受けられるようになりました。「エペ 1:3 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。」

みなさんも、アブラハムの祝福を受け継ぐようにされているのです。アブラハムから出てきたキリストこそが選ばれた方であり、この方によって祝福を受けるのです。そして、諸国民への祝福となる使命を受けています。福音を、敢えて他の民族、他の国に伝えるのはそのためです。アブラハムの祝福を受けましたか？また、アブラハムの祝福を、他の人々に分け与えましたか？